

第2回恵那市産業振興ビジョン検討部会（商業・観光部会）

	基本方向	基本施策	狙い	課題	前回までの検討部会での意見	対応状況	R2 事業案	
①地域産業の発展・活性化 ②新たな起業の応援	ものづくり産業の振興	地域資源の活用とブランド化	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	・地域資源の掘り起こし ・顧客データ不足 ・ニーズに基づく商品開発 ・事業化する担い手不足 ・地域をまとめる人材（組織）不在	<p><地域資源の掘り起こしについて> ○新商品開発や新事業の開発は、事業パートナーとのマッチングが課題。</p> <p><事業化する担い手不足について> ○経営の多角化に副業人材を活用している。</p>	○恵那くらしビジネスサポートセンター内に副業人材活用支援窓口を設置 ○ビジネスプランコンテスト開催を支援し、新たな事業化を促進	<p>☑️地域商社事業（DMO） ☑️新ビジネスプラン発掘支援事業</p> <p>⑧中津川・恵那チャレンジプロジェクト ⑧産業活性化のためのクラウドファンディング事業 ⑧恵那くらしビジネスサポートセンター事業</p>	
		知恵とネットワークを生かしたものづくり	事業者連携で地産地消を進め、新たな価値をつくる	・他地域と連携したグルメ開発			☑️地域商社事業（DMO）（再掲）	
		市場開拓・販路拡大	流通を確保する	・地域内外に売る仕組みづくり	<販路拡大について> ○商品開発と販路拡大を同時に進めることが重要。		☑️地域商社事業（DMO）（再掲） ⑧プレミアム付き商品券事業 ⑧EC活用支援プロジェクト	
	集客・交流産業の振興	集客・交流産業の振興	集客・交流産業の振興	「恵那といえばこれ！」というモノ・コト・サービスをつくる	<p>・地域資源の掘り起こし ・顧客データ不足 ・ニーズに基づく商品開発 ・メインとなるイベント不足 ・事業化する担い手不足 ・地域をまとめる人材（組織）不在 ・観光ビジョンがない ・スポーツ観光の検討 ・ドラマを一過性にしないための取り組み</p>	<p><スポーツ観光について> ○自転車、バイク、車のツーリング客が恵那をコースにしている。瑞浪・豊田方面から来ている。ツーリング客にお金を落としてもらう仕組みが必要。</p> <p><ドラマを一過性にしないための取り組みについて> ○ドラマを一過性にしないためには地域のファンになってもらうことが重要。「事前にウェブサイトや SNS を使って情報発信」→「現地を担当者と出会う」→「お店とお客さんが個別につながる」→「SNS で発信しあう」という過程が重要。 ○おばあちゃん市では、一度立ち寄ったお客さんが次は家族を連れて来てくれる。スタッフがお客さんとコミュニケーションを多く取っている。 ○SNS 活用方法を習得するとリピーター増加につながる。 ○LINE@を始めてお客さんの反応ある。誰が利用しているかのデータは得られるので商品作りに生かしている。 ○岩村では、ドラマ後もホットいむむらが中心となり、まちづくり団体をまとめ、ネットワークを生かして情報発信したことにより集客に成功している。 ○関係機関が連携して取り組めるよう横断的な推進組織が必要だ。またイベントなどを継続的に実施し、現地の人と関わりを持つ人を増やしていくことも重要。 ○観光地としての品質維持や向上については検討が必要。 ○光秀のキャラクターが地域によってバラバラだ。統一したものにすべき。 ターゲットを定めて、しっかりとしたコンセプトに基づく戦略を共有する仕組みが必要。</p> <p><広域観光について> ○大きな事業者は自社でバス会社と連携した周遊ツアーを実施しているが、小さな事業者では難しい。市全体のパッケージを組めるといい。</p>	<p>○外部事業者と地域との意見交換会を開催し、地域の強みを活かした商品開発を支援</p> <p>○市外旅行事業者を恵那峡や大河ドラマ館、中野方、上矢作などに招聘し、新たな販売ルートの開拓を促進</p> <p>○大河ドラマ館の整備（1/11 オープン） ○大河ドラマを契機とした明智光秀ゆかりの地に関する観光コンテンツの整備 ○大河ドラマを契機とした白鷹城跡の森林整備、看板整備、遊歩道整備などに関する受入環境の整備 ○明智光秀関連商品、明知グルメの開発 ○明智光秀特設WEBサイトによる、観光、食、土産物の一体的なPR ○観光ビジョンを策定中 ○SNS 活用セミナーを企画</p>	<p>☑️地域商社事業（DMO）（再掲） ☑️新ビジネスプラン発掘支援事業（再掲） ☑️新スポーツツーリズム推進事業</p> <p>⑧中津川・恵那チャレンジプロジェクト（再掲） ⑧大河ドラマ「麒麟がくる」活用推進事業 ⑧東美濃歴史街道協議会事業</p>
					集客できる拠点の整備	楽しんでもらえる場所をつくる	・外国人旅行者対応 ・高齢化する国内旅行者への対応	<外国人や高齢化する旅行者への対応について> ○中山道を歩く外国人が増えたがトイレが少ない。

第2回恵那市産業振興ビジョン検討部会（商業・観光部会）

				・岩村以外での案内機能充実 ・二次交通が充実していない ・キャッシュレス対応	○恵那峡 SA に恵那市の観光パンフレットを置いてほしい。 <受入体制整備について> ○休憩箇所に Wi-Fi 設置するといひ。	○ネクスコ中日本と調整し、SA における恵那市の観光PRを充実	
		魅力発信	市内外に魅力を知ってもらう	・一元的な情報発信 ・他地域の情報不足 ・イベントの重複 ・観光客がほしい情報提供	<一元的な情報発信について> ○情報をとりまとめ発信する体制整備が必要。 ○利用者が観光サイトを更新する仕組み（アクセス多い人には景品）。 ○市内全域で意識付けする必要がある。 ○広報に商業スペース確保できないか。	○恵那市観光協会ホームページのリニューアルを実施 ○Facebook、Twitter を活用した情報発信 ○明智光秀ゆかりの地特設WEBサイトの開発	⑧地域商社事業（DMO）（再掲） ⑧産業活性化のためのクラウドファンディング事業（再掲）
		経営支援	時代に対応した持続する経営体制を整える	・経営者の事業承継に対する重要性認識		○岐阜県事業承継ネットワークに加入	⑧事業承継支援事業 ⑧恵那くらしビジネスサポートセンター事業（再掲）
		経営基盤の強化		・教育の中での郷土愛醸成 ・キャッシュレスやソフトなどIT活用 ・事務の効率化 ・チェーン店や商業地区ができることへの対策	<チェーン店や商業地区ができることへの対策について> ○商店街が生き残っていくためにはポイント制度がいいのか他の方法がいいのか十分に議論する必要がある	○柳川市へポイント事業の先進地視察を実施 ○商工会議所主催による商店街の若手経営者勉強会を開催し、商店街のあり方について検討	⑧新商店街活性化支援プロジェクト ⑧新郷土愛醸成プロジェクト ⑧創業・起業チャレンジ事業
		新たな担い手発掘と育成	起業・創業しやすい環境をつくる	（未着手）			
		人材の確保	働きたいと思われる職場をつくる	・採用担当者の採用に関するノウハウ不足			⑧恵那くらしビジネスサポートセンター事業（再掲） ⑧シニアワークステーション事業 ⑧女性の活躍推進事業
		市民が事業者を知る機会創出	地域の人に事業者の魅力を知ってもらう	・教育の中での郷土愛醸成	<教育の中での郷土愛醸成> ○恵那の歴史や産業の成り立ちを知らないのでは市外へ出て行ってしまう。		⑧新郷土愛醸成プロジェクト（再掲） ⑧恵那くらしビジネスサポートセンター事業（再掲）
		潜在的な人材の発掘	まだ働いていない人に活躍してもらおう	・市内女性の働くことへのニーズ把握 ・市内高齢者の働くことへのニーズ把握			⑧恵那くらしビジネスサポートセンター事業（再掲） ⑧シニアワークステーション事業（再掲） ⑧創業・起業チャレンジ事業（再掲） ⑧女性の活躍推進事業（再掲）
		人材育成	伝統や文化、技術を伝え、次の担い手を育成する	（未着手）			⑧恵那くらしビジネスサポートセンター事業（再掲）
③バランスの取れた企業誘致	産業基盤の強化	企業立地の促進	地域に必要な企業を誘致する	（未着手）			
		地域の個性を生かした産業基盤の強化		（未着手）			